

8 宮城県における主な漁船漁業

遠洋漁業(Distant water fisheries)

大型船(100トン以上)を使用し多くの人をやとい、何か月も日本を離れて漁をします。遠洋まぐろはえ縄、遠洋底びき網などの漁業があります。

沖合漁業(Offshore fisheries)

沿岸漁業で使用する船よりも大きな船(10トン以上)で、沖に出て何日もかかって魚を獲ります。さんま棒受け網、まき網、沖合底びき網、いか釣りなどの漁業があります。

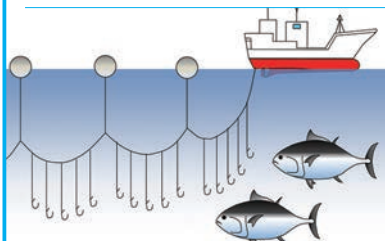
※出典について

漁獲量の推移(ランプ網漁業、ウバガイ以外)は漁業・養殖業生産統計年報(農林水産省)より引用。ランプ網漁業、ウバガイについては総合水産行政情報システム(宮城県)より引用。魚の写真は旧志津川町発行「南三陸の沿岸魚」より引用。

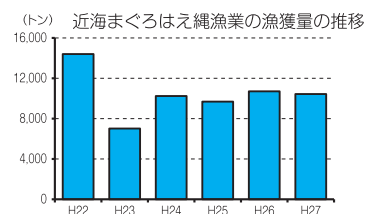
※集計期間 全て1~12月

はえ縄漁業(Long-line fisheries)

表層に設置した幹縄に針と餌が付いた枝縄を等間隔で吊り下げ、マグロやメカジキ、サメなどを釣り上げる漁法です。

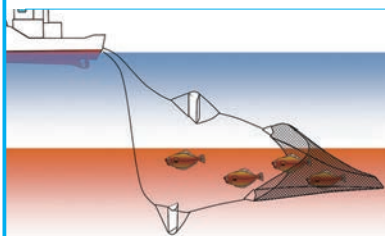


《おもな魚種》
クロマグロ



底びき網漁業(Trawl fisheries)

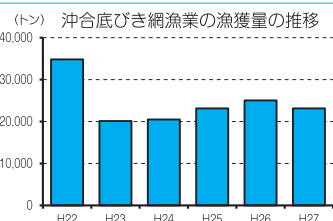
袋状の網を海底に投網し、網口を開きながら網をひき、海の底にいる魚介類を獲る漁法です。



《おもな魚種》
ヒラメ

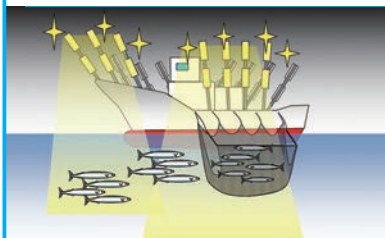


マコガレイ

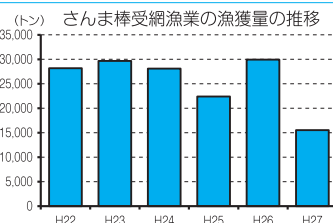


棒受け網漁業(Stick-held dipnet fisheries)

集魚灯を用いて、海面付近に魚を集め、あらかじめ船から海中に用意した網で、集まった魚をすくい上げる漁法です。

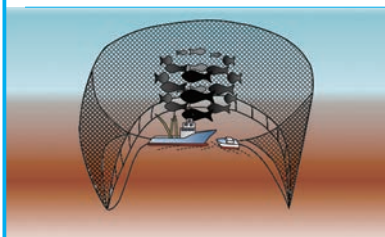


《おもな魚種》
サンマ

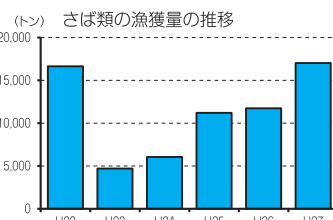


まき網漁業(Purse seine fisheries)

魚探船、網船、運搬船でひとつの船団を構成し、網船が魚群の回りを大きな網で囲い込むことで魚を獲る漁法です。



《おもな魚種》
マサバ

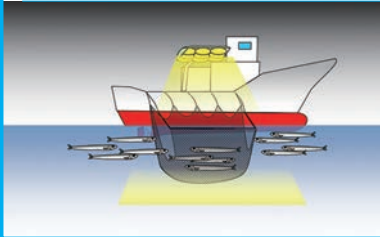


沿岸漁業 (Coastal fisheries)

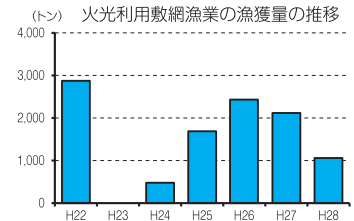
小さい船 (10トン未満) を使用して、岸に近い海で魚や貝などを獲る漁業です。刺網、小型底びき網、定置網、一本釣り、すくい網、船びき網などの漁業があります。

火光利用敷網漁業 (Stick-held dipnet fisheries)

集魚灯を用いて、海面付近にイカナゴ (コウナゴ) を集め、船から張り出した網ですくい上げる漁法です。

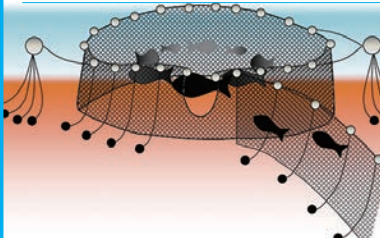


《おもな魚種》
イカナゴ



定置網漁業 (Set-net fisheries)

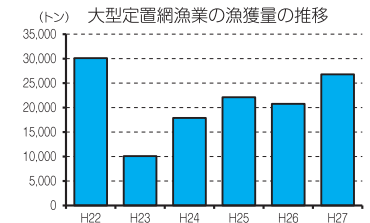
魚の通り道をふさぐように垣根状の網 (垣網) を設置し、魚が逃げられない構造となった身網とよばれるところまで、魚を誘導し、漁獲する漁法です。多種多様な魚を獲ることができます。



《おもな魚種》
マイワシ

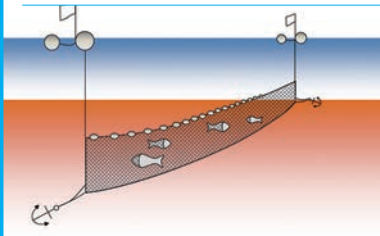


シロサケ



刺網漁業 (Gill net fisheries)

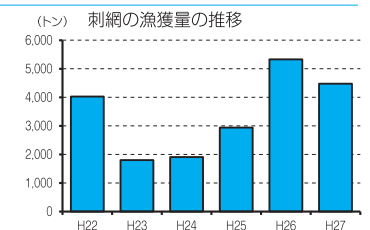
魚の通り道に網を張り、魚を網目に絡ませて多種多様な魚を獲ることができる漁法です。



《おもな魚種》
ヒラメ

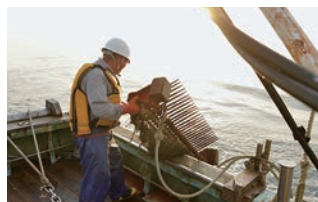
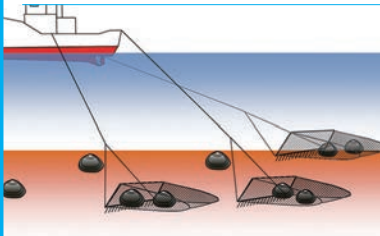


マコガレイ



貝桁網漁業 (Dredge fisheries)

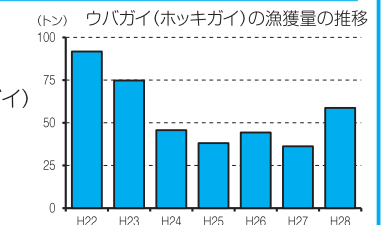
海底の砂をかきためる爪を付けた鉄製の枠に袋状の網がついた漁具 (桁網) を海底に投入し、砂をかきながら貝を獲る漁法です。



《おもな魚種》
アカガイ

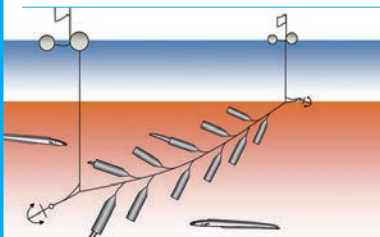


ウバガイ (地方名ホッキガイ)



ハモ胴漁業 (Conger ell tube fisheries)

片側に返しが付いた開口部がある筒状の漁具 (胴) に餌を入れて海底に沈め、胴に入り込んだマアナゴ (ハモ) を引き上げて獲る漁法です。



《おもな魚種》
マアナゴ (地方名ハモ)

